

金沢労働基準協会 令和ゼロ災プロジェクト

金沢地区(金沢市、白山市、野々市市、かほく市、河北郡)  
における

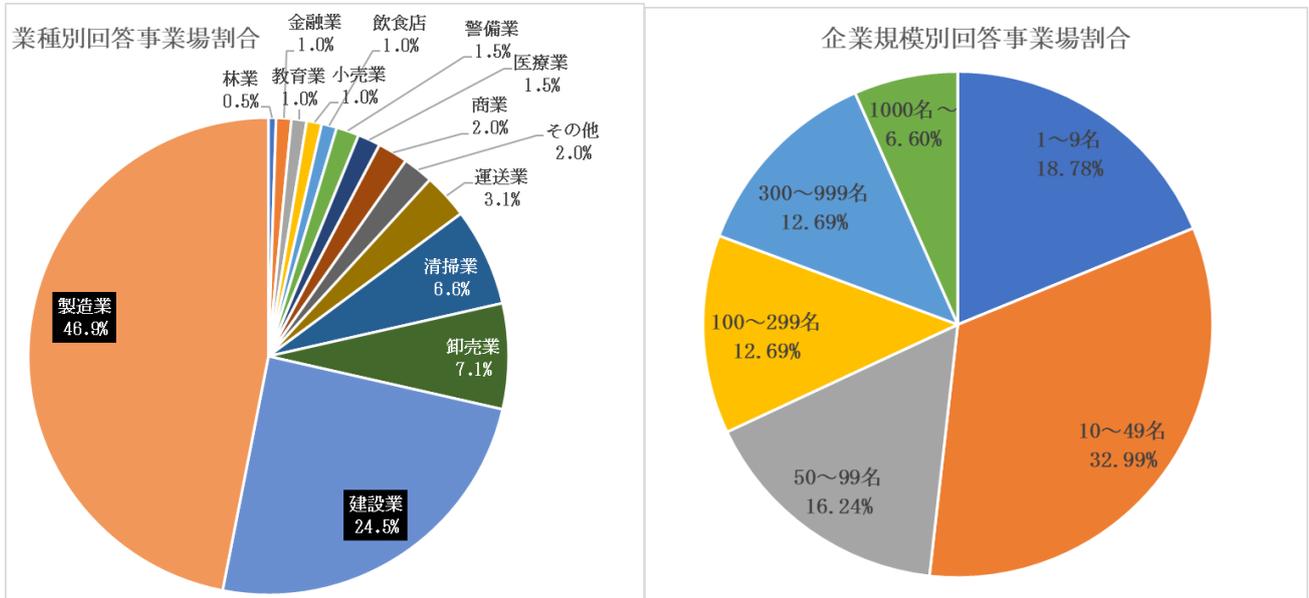
令和7年全国安全週間と令和7年全国労働衛生週間の  
事業場における実施事項アンケート集計結果について

令和8年1月

# 令和7年全国安全週間全国労働衛生週間の事業場における実施事項アンケート集計結果

金沢労働基準協会会員事業場及び業種別団体、工業団地協同組合・商工会議所・商工会等の事業者団体の会員事業場に配布した2000余りのアンケートのうち回答のあった196事業場の集計です。

( )内は令和3年のアンケート集計分です。



回答事業場を業種別にみると、製造業 46.94% (66.7%)、建設業 24.49% (23.8%)、卸売業 7.14%、清掃業 6.63%、運送業 3.06%、商業 2.04%、その他の事業 2.04%、警備業 1.53%、医療業 1.53%、金融業 1.02%、教育業 1.02%、小売業 1.02%、飲食店 1.02%、林業 0.51%であり、製造業が47%とほぼ半分、建設業、運送業、林業合わせて28%と4分の1強を占め、残り商業、サービス業等第三次産業が25%でちょうど4分の1の割合でした。

回答事業場を規模別にみると、

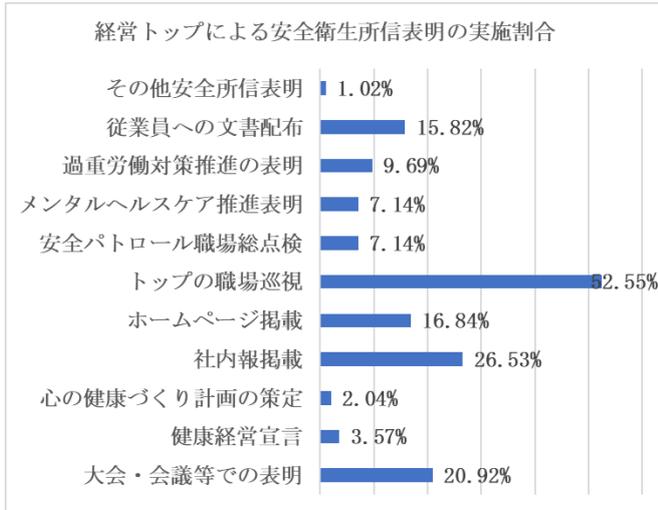
1～9名 18.78% (14.0%) 10～49名 32.99% (14.0%) 50～99名 16.24% (24.0%) 100～299名 12.69% (10.0%) 300～999名 12.69% (29.0%) 1000名～6.60% (9.0%) と、300人以上の大企業が19.3% (28.0%) であり、10名未満の零細企業が18.8% (14.0%) です。10名以上300名未満の中小企業が61.9% (48.0%) となっています。100人以上31.98% (39.0%) となっています。

全国安全週間の事業場における実施事項の数は108件、全国労働衛生週間の事業場における実施事項の数は108件です。重複する事項や業種が限定されたものもあり、比較は難しいですが、全国週間実施事項の平均実施事項数を企業規模別にみると、1～9名18.1項目、10～49名32.6項目、50～99名49.5項目、100～299名59.2項目、300～999名70.5項目、1000名以上70.6項目となっています。

同じく、事業場規模別にみると、1～9名21.3項目、10～49名35.6項目、50～99名55.0項目、100～299名65.5項目、300～999名68.5項目、1000名以上79.0項目となっています。

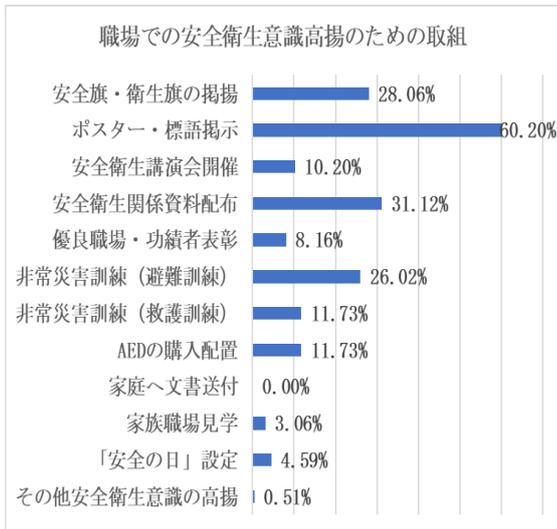
## 1. 経営トップによる安全衛生所信表明の取組状況

経営トップによる安全衛生所信表明の取組の実施状況をみると、最も多いのが、トップの職場巡



視 52.55% (71.4%) 次いで、社内報掲載 26.53% (33.3%) が多く、以下、大会・会議等での表明 20.92% (38.1%) ホームページ掲載 16.84% (14.3%) 従業員への文書配布 15.82% (14.3%) 過重労働対策推進の表明 9.69%、メンタルヘルスケア推進表明 7.14% (20.2%) 安全パトロール職場総点検 7.14%、健康経営宣言 3.57%、心の健康づくり計画の策定 2.04% (17.6%) その他安全所信表明 1.02% (15.7%) となっています。

## 2. 職場での安全衛生意識の高揚のための取組

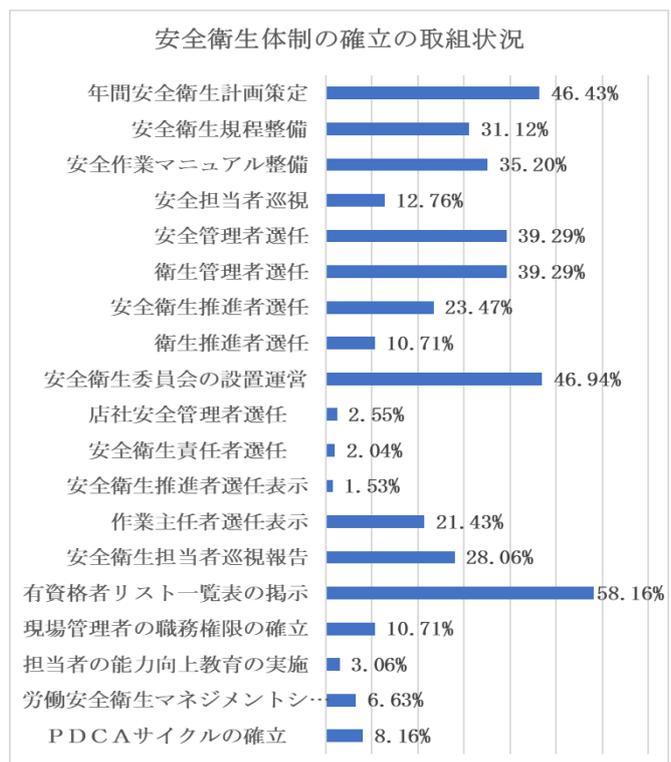


職場での安全衛生意識の高揚の取組状況をみると、最も多かったのが、ポスター・標語掲示 60.20% (64.7%)、次いで多いのが、安全衛生関係資料配布 31.12% (39.2)、以下、安全旗・衛生旗の掲揚 28.06% (29.3%) 非常災害訓練（避難訓練） 26.02% (61.9) 非常災害訓練（救護訓練） 11.73% (15.7%) AEDの購入配置 11.73%、安全衛生講演会開催 10.20% (14.3%) 優良職場・功績者表彰 8.16% (7.8%) 「安全の日」設定 4.59% (14.3%)、家族職

場見学 3.06% (5.9%) その他安全衛生意識の高揚 0.51% (4.8%) 家庭へ文書送付 0.00% (9.5%) でした。

## 3. 安全衛生管理体制の確立の取組

安全衛生管理体制の確立のための取組の実施状況をみると、最も多かったのが、有資格者リスト一覧表の掲示 58.16% (71.4%) 次いで多かったのが、安全衛生委員会の設置運営 46.94% (76.2%) 年間安全衛生計画策定 46.43% (57.1%) であり、以下多い順に、衛生管理者選任 39.29% (54.9%) 安全管理者選任 39.29% (52.4%) 安全作業マニュアル整備 35.20% (52.4%) 安全衛生規程整備 31.12% (47.6%) 安全



衛生担当者巡視報告 28.06%(42.9)安全衛生推進者選任 23.47%、作業主任者選任表示 21.43% (47.6%)  
現場管理者の職務権限の確 10.71%、衛生推進者選任 10.71% (23.5%) P D C Aサイクルの確立 8.16%  
(11.8%) 労働安全衛生マネジメントシステム導入 6.63% (5.9%) 担当者の能力向上教育 3.06%、店社  
安全管理者選任 2.55% (9.5%) 安全衛生責任者選任 2.04% (14.3%) 安全衛生推進者選任表示 1.53%  
(28.6%) となっています。

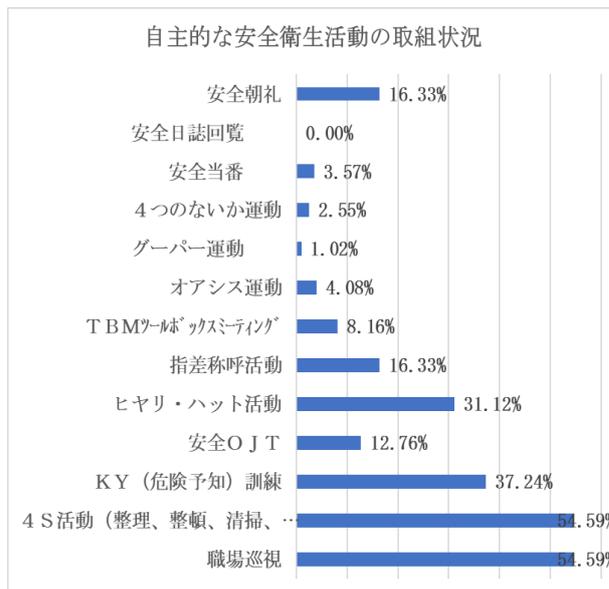
#### 4. 安全衛生教育の実施状況



安全衛生教育の実施状況をみると、最も多く実施されているのが、雇入れ時教育 82.14% (90.5%)、次いで多いのが、職長教育 34.69% (61.9%) 以下、作業マニュアル活用教育 26.02% (33.3%)、災害事例活用教育 23.47% (66.7%)  
外部の安全講習会の活用 20.92%、未熟練労働者教 14.29% (47.6%) 危険有害業務特別教育 14.29% (19.6%) 視聴覚教材の活用 10.20% (38.1%) 安全衛生教育長期計画 5.61% (9.5%) 現場入場者教育の実施 3.57%、現場入場者の資格確認 3.06%、階層別安衛教育計画 2.55% (23.8%) 下請け業者の有資格者一覧 2.04%、安全衛生責任者教育の実施 1.53%となっています。

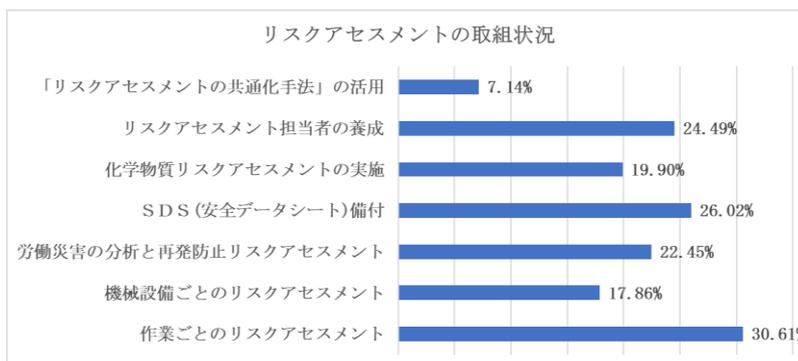
#### 5. 自主的な安全衛生活動の取組状況

自主的な安全衛生活動の取組状況をみると、最も多く実施されているのが職場巡視 54.6% (85.7%)、ついで多いのが4 S活動 (整理、整頓、清掃、清潔) 54.6% (85.7%) であり、以下、多い順にみるとK Y (危険予知) 訓練 37.2% (66.7%)、ヒヤリ・ハット活動 31.1% (52.4%)、指差称呼活動と安全朝礼がそれぞれ 16.3% (38.1%)、安全O J T 12.8% (42.9%)、T B Mツールボックスミーティング 8.2% (19.0%)、オアシス運動 4.1% (9.5%)、安全当番 3.6%、4つのないか運動 2.6%、グーパー運動 1.0% (9.5%)、安全日誌回覧 0.0%となっています。



#### 6. リスクアセスメントの取組状況

リスクアセスメントの取組状況をみると、最も多い取組が、作業ごとのリスクアセスメント 30.61% (57.1%) であり、次いで多いのがS D S (安全データシート) 備付 26.02% (47.6%) である。以下、多い順にリスクアセスメント担当者の養成 24.49%、労働災害の分析と再発防止リスクアセスメント 22.45%、機械設備ごとのリスクアセスメント 17.86%、作業ごとのリスクアセスメント 30.61%



析と再発防止リスクアセスメント 22.45% (47.6%) 化学物質リスクアセスメントの実施 19.90% (33.3%) 機械設備ごとのリスクアセスメント 17.86% (42.9%) 「リスクアセスメントの共通化手法」の活用 7.14% (9.5%) となっています。

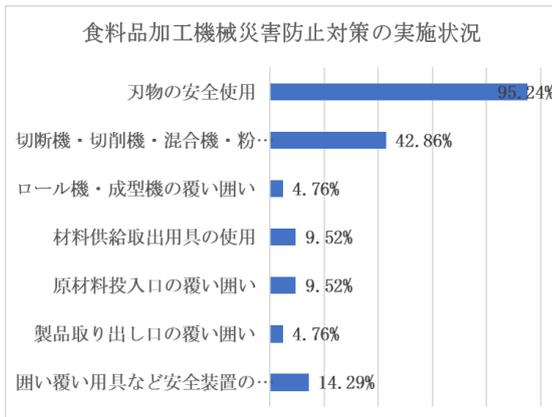
以下は、全国安全週間実施要綱において事業場の実施すべき事項に示されている項目です。

## 7. 機械の安全対策の実施割合



機械の安全対策の製造業における実施割合をみると、最も多いのが機械設備の安全対策 41.30% (50.0%) 次いで多いのが、作業開始前点検票 27.17% (42.9%) 以下、多い順に、機械間通路の危険箇所防護 23.91% (42.9%) はさまれ危険箇所 23.91% (35.7%) 機械機能安全の活用 13.04% (50.0%) 安全治具の活用 11.96%、高経年施設設備更新計画 10.87% (21.4%)、ストーク端の危険箇所防護 8.70% (21.4%)、優先順位を付けた点検補修計画 6.52% (35.7%)、機械別安全チェックリスト 6.52% (21.4%)、機械の危険部分への覆いチェックリスト 5.43%、その他機械設備の安全対策 1.09% (14.3%) となっています。

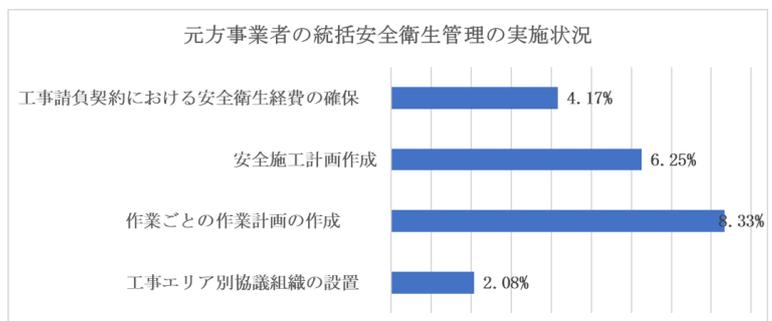
## 8. 食料品加工機械災害防止対策の実施状況



食料品加工機械災害防止対策を商品製造業・飲食店、食品小売業での実施状況をみると、最も多い実施対策が刃物の安全使用 95.24%、次いで多い対策が、切断機・切削機・混合機・粉砕機の覆い囲い 42.86%である。以下、多い順に、囲い覆い用具など安全装置の点検 14.29%、原材料投入口の覆い囲い 9.52%、材料供給取出用具の使用 9.52%、製品取り出し口の覆い囲い 4.76%、ロール機・成型機の覆い囲い 4.76%となっています。

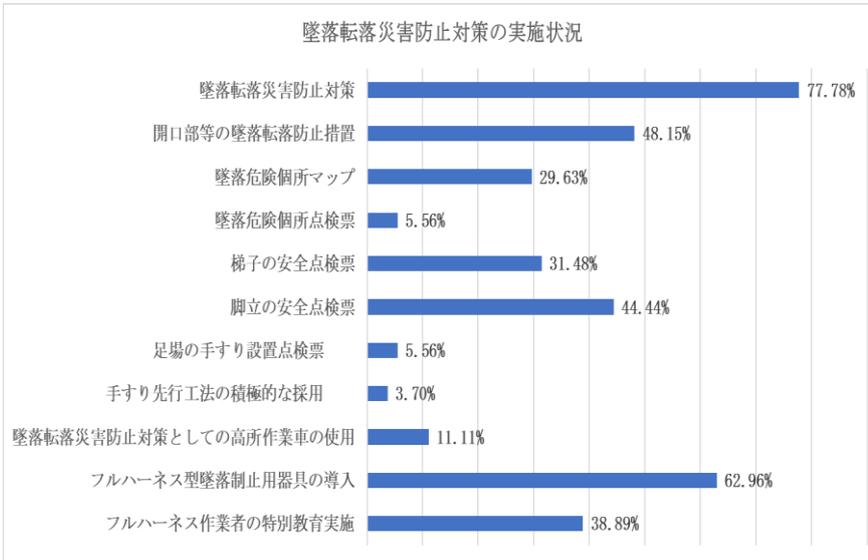
## 9. 元方事業者の統括安全衛生管理の実施状況

元方事業者の統括安全衛生管理の建設業における実施状況をみると、最も多い取組は、作業ごとの作業計画の作成 8.33%であり、次いで安全施工計画作成 6.25%、以下、工事請負契約における安全衛生経費の確保 4.17%、工事エリア別協議組織の設置 2.08%、建設業の回答企業元方事業者がどれだけか、工事規模、工事種別も不明なのであるが、比較だけすると工事請負契約における安全衛生経費を確保しています。元方事業者は作業ごとの作業計画を作成しています。元方事業者の半数ということになります。



## 10. 墜落転落災害防止対策の実施状況

墜落転落災害防止対策の回答のあった建設業、運送業、林業の回答事業場の実施状況をみると、墜落転落災害防止対策の実施事業場の割合が77.78%でした。このうち、最も取組が多かったのが

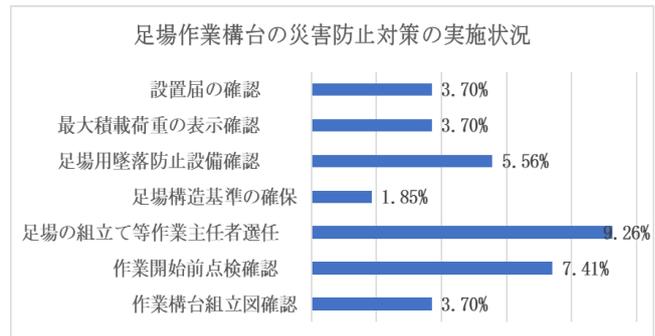


フルハーネス型墜落制止用器具の導入62.96%であり、次いで開口部等の墜落転落防止措置48.15%が多く、以下多い順に、脚立の安全点検票44.44%、フルハーネス作業者の特別教育実施38.89%、梯子の安全点検票31.48%、墜落危険箇所マップ29.63%、墜落転落災害防止対策としての高所作業車の使用11.11%、足場の手すり設置点検票5.56%、墜落危険箇所点検票

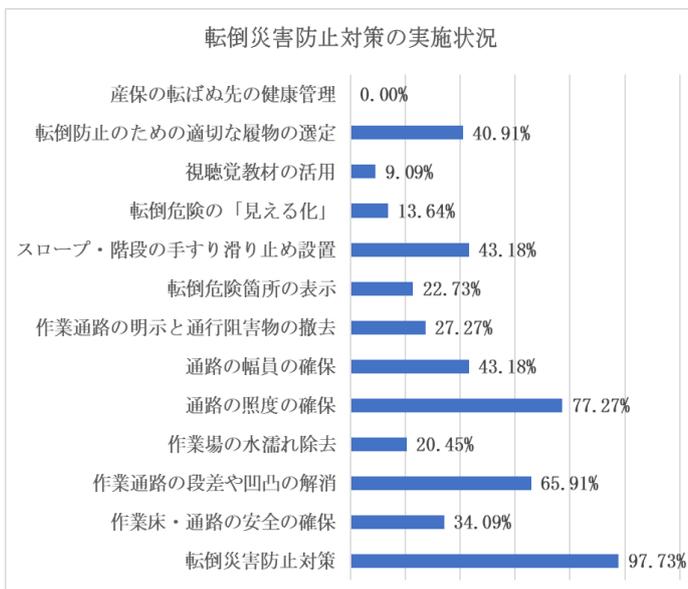
5.56%、手すり先行工法の積極的な採用3.70%、その他墜落転落災害防止対策1.85%でした。

## 11. 足場・作業構台の災害防止対策の実施状況

足場・作業構台の災害防止対策の回答のあった建設業、運送業、林業の回答事業場の実施状況をみると、最も多いのが、足場の組立て等作業主任者選任9.26%、次いで、作業開始前点検確認7.41%が多く、以下、多い順に、足場用墜落防止設備確認5.56%、作業構台組立図確認3.70%、最大積載荷重の表示確認3.70%、設置届の確認3.70%、足場構造基準の確保1.85%となっています。



## 12. 転倒災害防止対策の実施状況

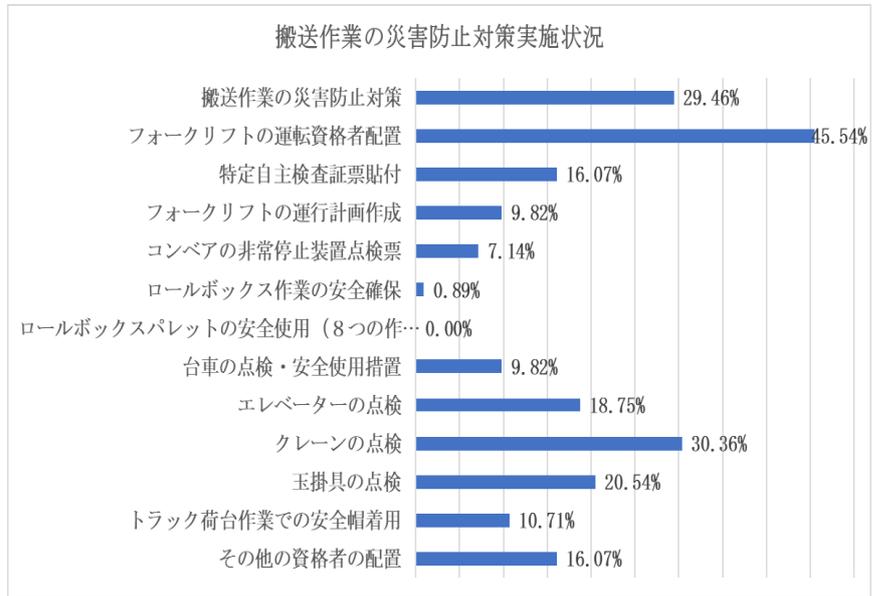


転倒災害防止対策を実施しています。事業場は、回答事業のうち21.94%（25.71%）です。この転倒災害防止対策実施事業場の取組内容別に実施状況を見ると、最も多いのが、通路の照度の確保77.27%（71.4%）であり、次いで、作業通路の段差や凹凸の解消65.91%（78.6%）が多く、以下、多い順に、通路の幅員の確保43.18%、スロープ・階段の手すり滑り止め設置43.18%（57.1%）、転倒防止のための適切な履物の選定40.91%、作業床・通路の安全の確保34.09%、作業通路の明示と通行障害物の撤去27.27%、転倒危険箇所の表示

22.73% (21.4%)、作業場の水濡れ除去 20.45%、転倒危険の「見える化」 13.64% (0.0%)、視聴覚教材の活用 9.09% (28.6%)、産保の転ばぬ先の健康管理 0.00%でした。

### 13. 搬送作業の災害防止対策の実施状況

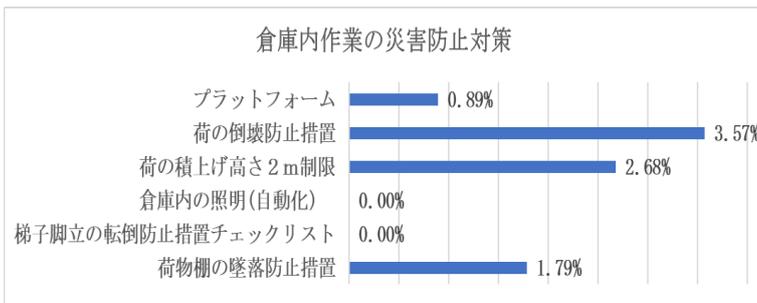
搬送作業の災害防止対策の製造業、運送業、卸売業における実施状況をみると、最も多いのが、フォークリフトの運転資格者配置 45.54% (100%) であり、次いで多いのがクレーンの点検 30.36%でした。以下実施率が高かった順にみると、その他の搬送作業の災害防止対策 29.46%、玉掛具の点検 20.54%、エレベーターの点検 18.75%、その他の資格者の配置 16.07%、特定自主検査証票貼付 16.07%、トラック荷台作業での安全帽着用 10.71%、台車の点検・安全使用措置 9.82%、フォークリフトの運行計画作成 9.82% (28.6%)、コンベアの非常停止装置点検票 7.14% (7.1%)、ロールボックス作業の安全確保 0.89%でした。ロールボックスパレットの安全使用 (8つの作業ルール) は実施している事業場はありませんでした。



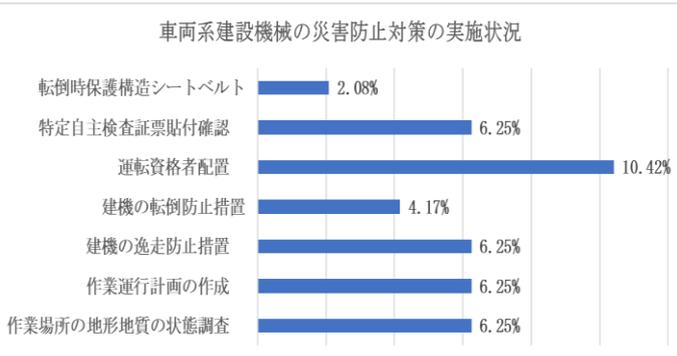
フォークリフトの運転資格者を配置している事業場は 45.54%なのにフォークリフトの運行計画を作成している事業場は 9.82%ですから、35.72%の事業場が法定の運行計画を策定していません。

### 14. 倉庫内作業の災害防止対策の実施状況

倉庫内作業の災害防止対策の製造業、運送業、卸売業における実施状況をみると、最も多いのが、荷の倒壊防止措置 3.57%であり、次いで多いのが荷の積上げ高さ 2m制限 2.68%でした。以下実施率が高かった順にみると、荷物棚の墜落防止措置 1.79%、プラットフォーム 0.89%でした。梯子脚立の転倒防止措置チェックリストと倉庫内の照明(自動化)とは実施している事業場はありませんでした。



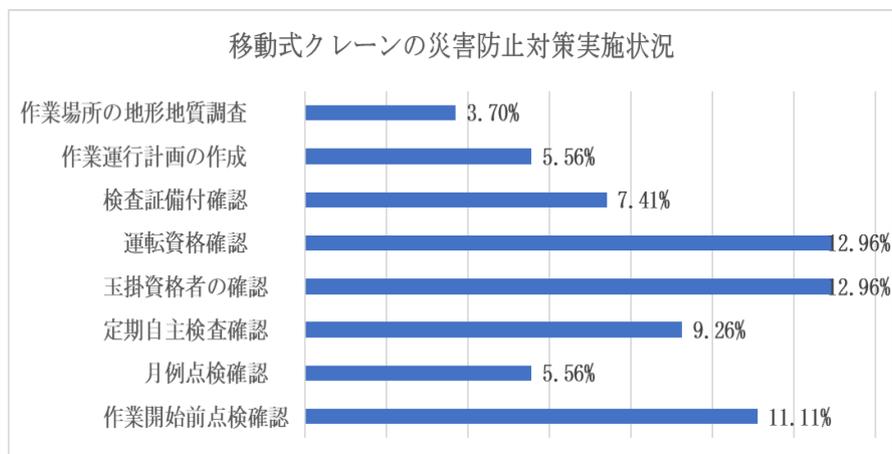
### 15. 車両系建設機械の災害防止対策の実施状況



車両系建設機械の災害防止対策の建設業における実施状況をみると、最も多かったのが、車両系建設機械の運転資格者配置 10.42%であり、次いで多かったのが、作業場所の地形地質の状態調査と作業運行計画の作成と建機の逸走防止措置と特定自主検査証票貼付確認がそれぞれ 6.25%、建機の転倒防止措置 4.17%、転倒時保護

構造シートベルト 2.08%でした。車両系建設機械の運転資格者を配置している事業場のうち、40.5%の事業場が法定の作業計画を策定していません。

## 16. 移動式クレーンの災害防止対策実施状況

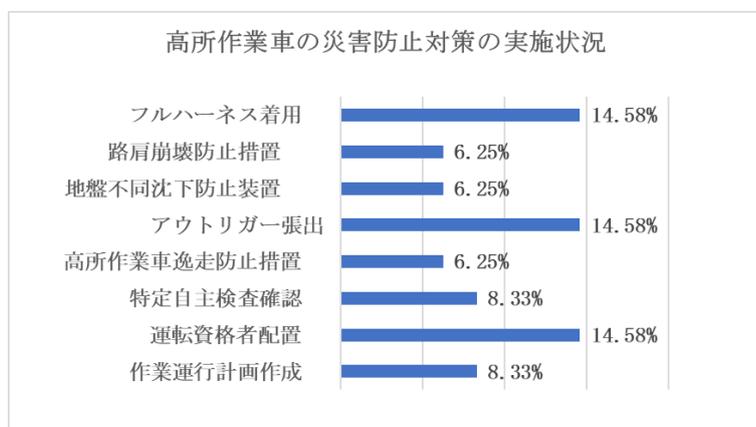


移動式クレーンの災害防止対策の建設業及び運送業における実施状況をみると、最も多かったのが、移動式クレーンの運転資格確認と玉掛資格者の確認でそれぞれ 12.96%であった。次に多かったのが作業開始前点検確認 11.11%であり、以下、実施割合が高い順に定期自主検査確認 9.26%、検査証備付確認

7.41%、作業運行計画の作成と月例点検確認がそれぞれ 5.56%、作業場所の地形地質調査 3.70%でした。移動式クレーンの運転資格者と玉掛資格者を配置している事業場の半数が作業運行計画の作成と月例点検を実施していません。

## 17. 高所作業車の災害防止対策の実施状況

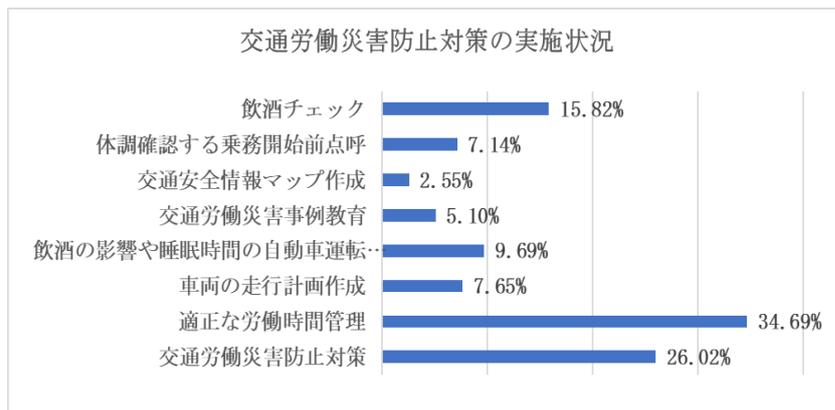
高所作業車の災害防止対策の建設業における実施状況をみると、最も多かったのが、高所作業車の運転資格者配置とアウトリガー張出とフルハーネス着用がそれぞれ 14.58%、次に多かったのが作業運行計画作成と特定自主検査確認がそれぞれ



8.33%、次いで高所作業車逸走防止措置と地盤不同沈下防止措置、路肩崩壊防止措置がそれぞれ 6.25%でした。高所作業車の運転資格者を配置している事業場のすべてがアウトリガー張出とフルハーネス着用を実施していますが、法定の作業運行計画と特定自主監査標章を貼付している事業場はその 42.9%にすぎません。

## 18. 交通労働災害防止対策の実施状況

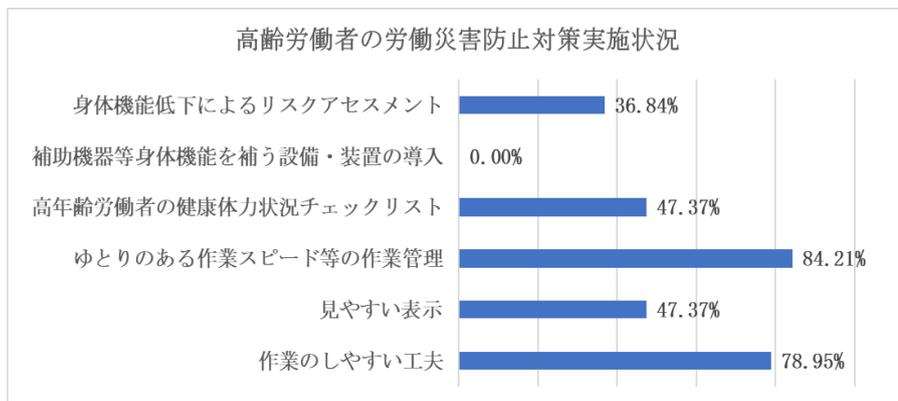
交通労働災害防止対策の実施状況をみると、最も多かった取組が適正な労働時間管理 34.69%(61.9%)であり、次いでその他の交通労働災害防止対策 26.02%でした。以下、取組割合の高かった順に飲酒チェック 15.82%。飲酒の影響や睡眠時間の自動車運転者教育 9.69%(14.3%)、車



両の走行計画作成 7.65%(4.8%)、体調確認する乗務開始前点呼 7.14%(9.5%)、交通労働災害事例教育 5.10%(14.3%)、交通安全情報マップ作成 2.55%(4.8%)でした。

## 19. 高齢労働者の労働災害防止対策の実施状況

高齢労働者の労働災害防止対策の実施状況をみると、高齢労働者労働災害防止対策を実施している事業場は全体の 9.69% (42.9%) であり、最も多かった取組がゆとりのある作業スピード等の作業管理 84.21% (0.0%) であり、次いで多い取組が作業のしやすい工夫 78.95%でした。

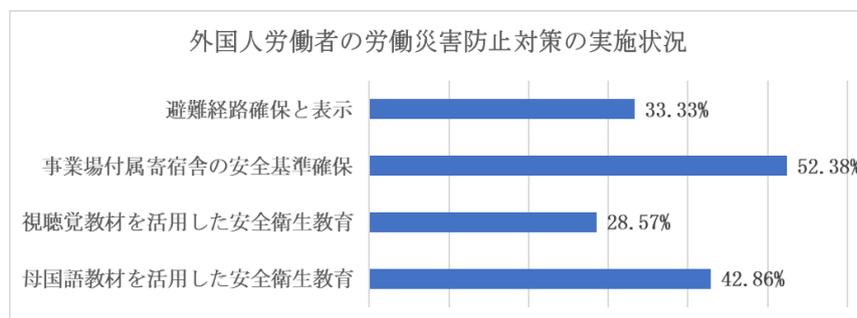


以下、取組割合の多い順に見やすい表示 47.37%、高齢労働者の健康体力状況チェックリスト 47.37% (21.4%)、身体機能低下によるリスクアセスメント 36.84% (21.4%) でした。補助機器等身体機能を補う設備・装置の導入と回答した事業場は 0.0% (0.0%) でした。

(今回のアンケート回答事業場に医療業はありましたが、社会福祉施設の回答はありませんでした。)

## 20. 外国人労働者の労働災害防止対策実施状況

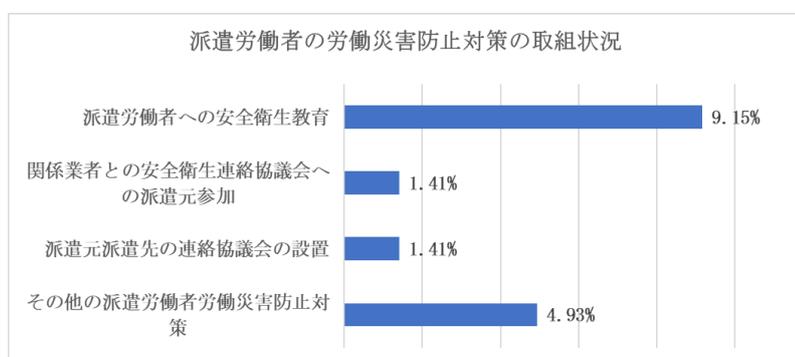
外国人労働者の労働災害防止対策を実施している事業場は全体の 10.71%でした。実施している対策で取組割合の最も高かったのは、事業場付属寄宿舎の安全基準確保 52.38% (7.1%) で、次いで多かった取組が母国語教材を活用した安全衛生教育 42.86% (7.1%) でした。以下、取組の多かった順に避難経路確保と表示 33.33%



(7.1%)、視聴覚教材を活用した安全衛生教育 28.57% (7.1%) でした。

## 21. 派遣労働者の労働災害防止対策実施状況

派遣労働者の労働災害防止対策を実施している事業場は建設業・警備業・医療業を除く 9.15%で

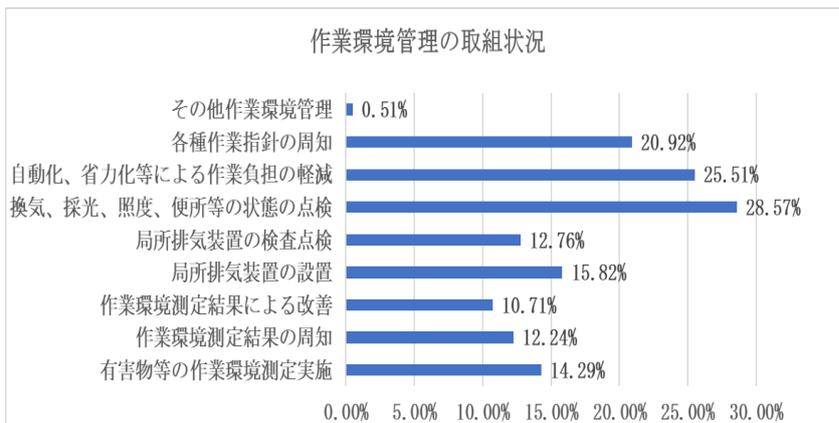


す。取組割合の最も高かったのは、派遣労働者への安全衛生教育 9.15%、次いでその他の対策 4.93%、連絡協議会の設置と安全衛生連絡協議会への派遣元参加がそれぞれ 1.41%でした。教育を実施している企業でも協議会を設けているのは 15.4%にすぎません。

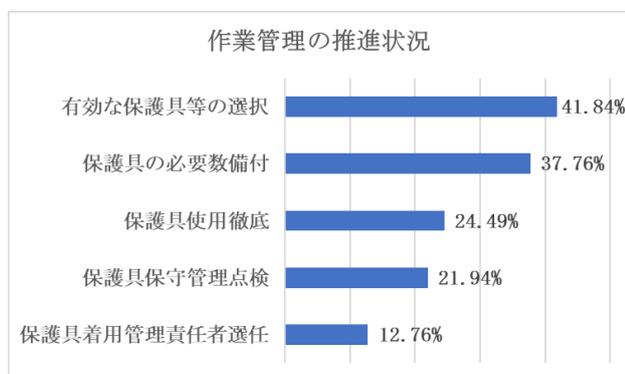
以下は、全国労働衛生週間実施要綱において事業場の実施すべき事項に示されている項目です。

## 22. 作業環境管理の推進状況

作業環境管理の推進状況をみると、最も多かったのが、換気、採光、照度、便所等の状態の点検 28.57%でした。次いで、自動化、省力化等による作業負担の軽減 25.51%が多く、以下、多い順に各種作業指針の周知 20.92%、局所排気装置の設置 15.82%、有害物等の作業環境測定実施 14.29%、局所排気装置の検査点検 12.76%、作業環境測定結果による改善 10.71%、作業環境測定結果の周知 12.24%、作業環境測定結果による改善 10.71%、その他作業環境管理 0.51%でした。



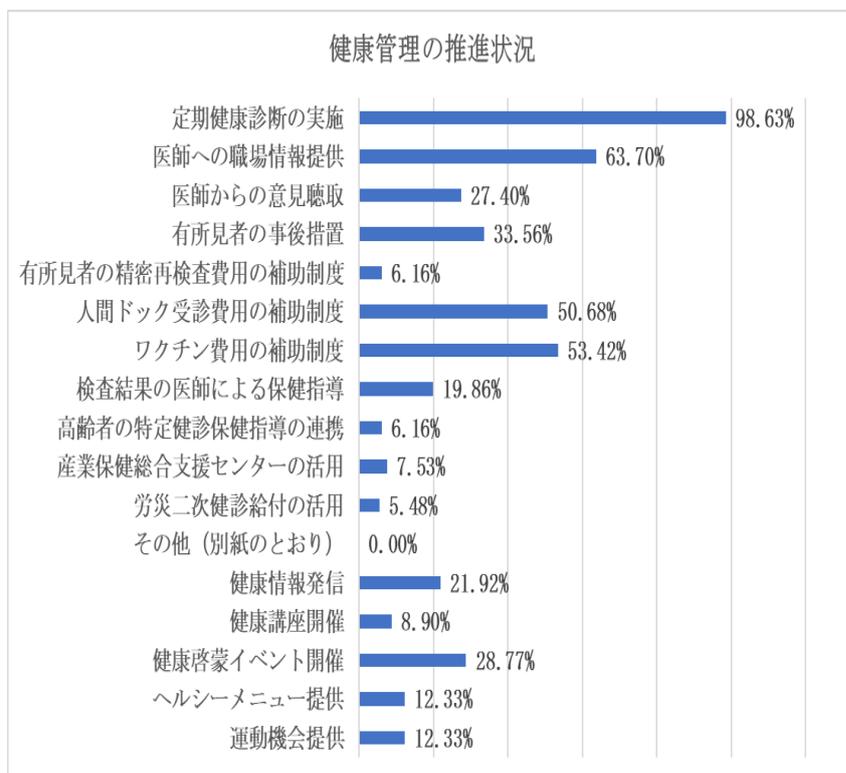
## 23. 作業管理の推進状況



作業管理の推進状況をみると、最も多かったのが、有効な保護具等の選択 41.84% (56.9%) であり、次いで多いのが保護具の必要数備付 37.76% (43.1%) でした。以下、保護具使用徹底 24.49% (49.0%)、保護具保守管理点検 21.94% (31.4%)、保護具着用管理責任者選任 12.76% の順で多くなっています。保護具着用管理責任者選任は保護具選定事業場の 30.5% となっています。

## 24. 健康管理の推進状況

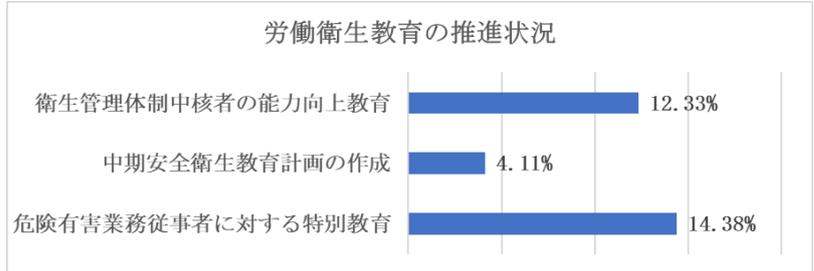
健康管理の推進状況をみると、最も多かったのが、定期健康診断の実施 98.63% (94.1%) です。次いで多いのが、医師への職場情報提供 63.70% (47.1%) でした。以下、多い順に、ワクチン費用の補助制度 53.42%、人間ドック受診費用の補助制度 50.68%、有所見者の事後措置 33.56% (47.1%)、健康啓蒙イベント開催 28.77%、医師からの意見聴取 27.40% (47.1%)、健康情報発信 21.92%、検査結果の医師による保健指導 19.86% (62.7%)、ヘルシーメニュー提供 12.33%、運動機会提供 12.33%、健康講座開催 8.90%、産業保健総合支援センター



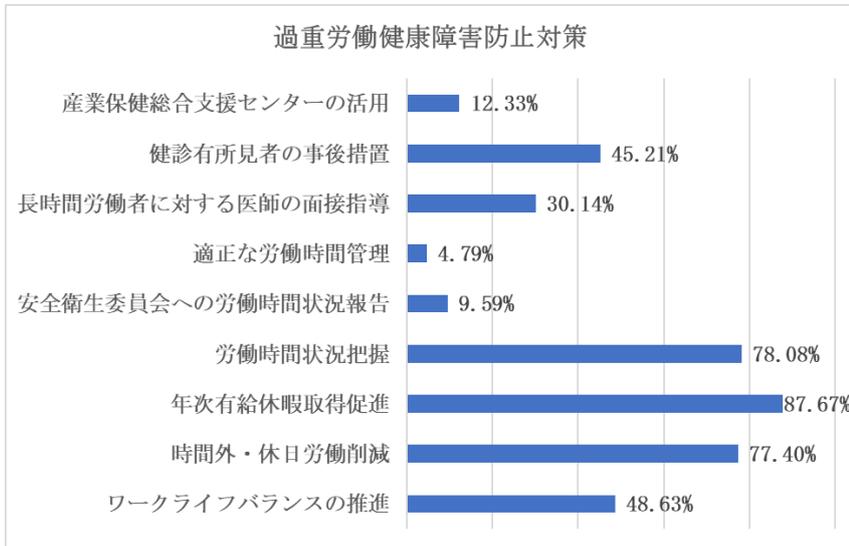
の活用 7.53%、高齢者の特定健診保健指導の連携 6.16% (5.9%)、有所見者の精密再検査費用の補助制度 6.16%、労災二次健診給付の活用 5.48%となっています。

## 25. 労働衛生教育の推進状況

労働衛生教育の推進状況を見ると、最も多かったのが、危険有害業務従事者に対する特別教育 14.38% (19.6%) であり、次いで多いのが、衛生管理体制中核者の能力向上教育 12.33% (33.3%)、中期安全衛生教育計画の作成 4.11% (5.9%) となっています。



## 26. 過重労働健康障害防止総合対策の推進状況

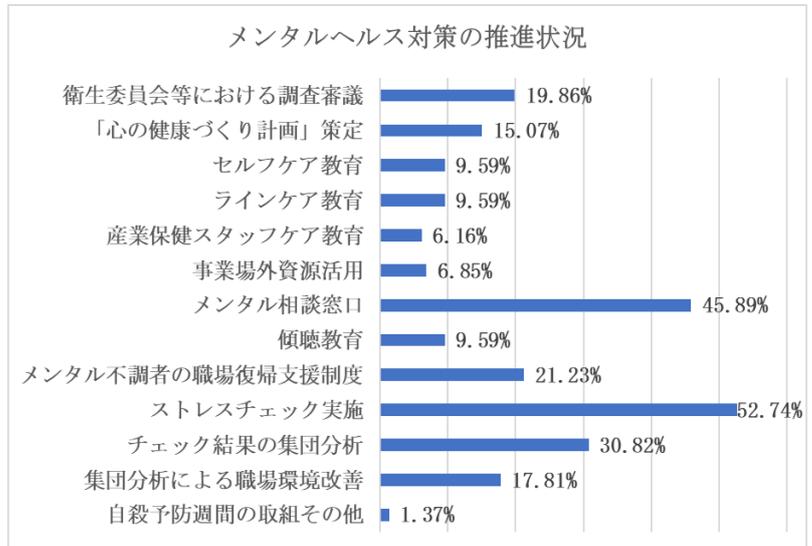


過重労働健康障害防止総合対策の推進状況を見ると、最も多かったのが、年次有給休暇取得促進 87.67% (82.4%) であり、次いで多かったのが労働時間状況把握 78.08% (76.5%)、以下、多い順に、時間外・休日労働削減 77.40% (72.5%)、ワークライフバランスの推進 48.63% (33.3%)、健診有所見者の事後措置 45.21%、長時間労働者に対する医師の面接指導 30.14% (25.5%)、産業保健総合

支援センターの活用 12.33% (17.6%)、安全衛生委員会への労働時間状況報告 9.59%、適正な労働時間管理 4.79%となっています。

## 27. メンタルヘルス対策の推進状況

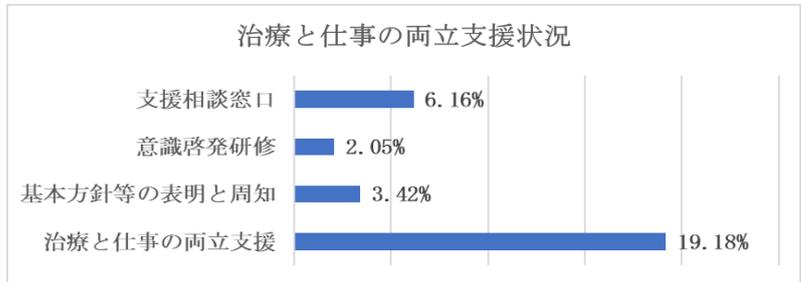
メンタルヘルス対策の推進状況を見ると、最も多かったのが、ストレスチェック実施 52.74% (58.8%) であり、次いで多いのが、メンタル相談窓口 45.89% (41.2%)、以下多い順にストレスチェック結果の集団分析 30.82% (41.2%)、メンタル不調者の職場復帰支援制度 21.23% (21.6%)、衛生委員会等における調査審議 19.86% (17.6%)、集団分析による職場環境改善 17.81%、「心の健康づくり計画」策定 15.07% (17.6%)、傾聴教育 9.59% (7.8%)、



ラインケア教育 9.59% (11.8%)、セルフケア教育 9.59%、事業場外資源活用 6.85% (2.0%)、産業保健スタッフケア教育 6.16% (9.8%)、自殺予防週間の取組その他 1.37% (2.0%) となっています。

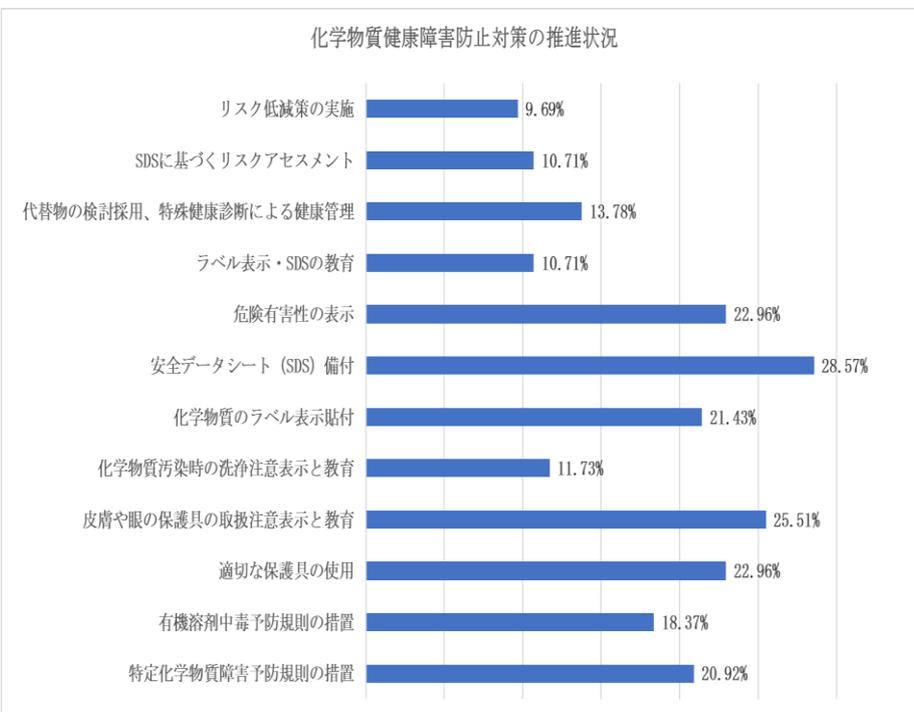
## 28. 治療と仕事の両立支援の推進状況

治療と仕事の両立支援の推進状況を見ると、最も多いのが、治療と仕事の両立支援に取り組んでいます。19.18%であり、そのうち取り組んでいます。事項についてみると、最も多かったのが、支援相談窓口 32.14%であり、次いで、基本方針等の表明と周知 17.86%、意識啓発研修 10.71%となっています。



## 29. 化学物質健康障害防止対策の推進状況

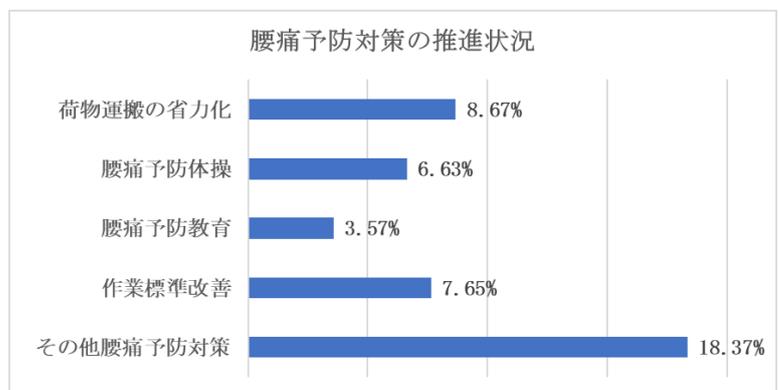
化学物質健康障害防止対策の推進状況を見ると、最も多いのが、安全データシート (SDS) 備付 28.57%であり、次いで皮膚や眼の保護具の取扱注意表示と教育 25.51%、以下取組の多い順に適切な保護



具の使用 22.96%、危険有害性の表示 22.96%、化学物質のラベル表示貼付 21.43%、特定化学物質障害予防規則の措置 20.92%、有機溶剤中毒予防規則の措置 18.37%、代替物の検討採用、特殊健康診断による健康管理 13.78%、化学物質汚染時の洗浄注意表示と教育 11.73%、ラベル表示・SDSの教育 10.71%、SDSに基づくリスクアセスメント 10.71%、リスク低減策の実施 9.69%となっています。

## 30. 腰痛予防対策の推進状況

腰痛予防対策の推進状況を見ると、最も多いのが、その他腰痛予防対策 18.37%であり、次いで多いのが、荷物運搬の省力化 8.67% (17.6%)。以下、多い順に作業標準改善 7.65% (11.8%)、腰痛予防体操 6.63% (7.8%)、腰痛予防教育 3.57% (2.0%) となっています。

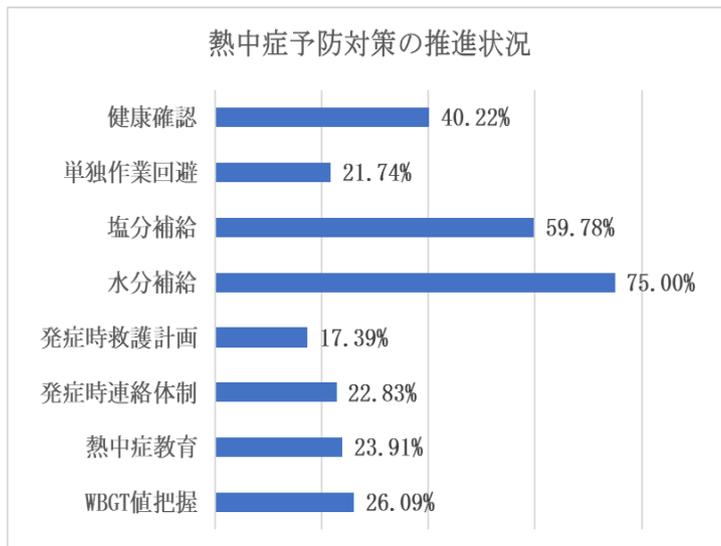


### 31. 熱中症予防対策の推進状況

熱中症予防対策の推進状況をみると、熱中症予防対策を実施しているのは全体の46.94% (41.3%) でした。このうち取組が最も多いのが、水分補給 75.00% (70.6%) であり、次いで多い取組が、塩分補給 59.78% (56.9%) 以下多い順に、健康確認 40.22% (37.3%)、WBGT 値把握 26.09%

(11.8%)、熱中症教育 23.91%、発症時連絡体制 22.83%、単独作業回避 21.74%

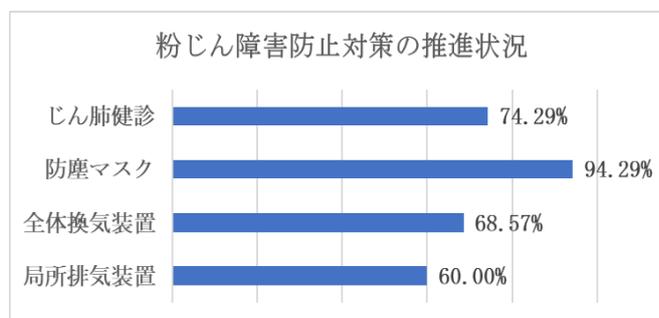
(7.8%)、発症時救護計画 17.39% となっています。熱中症による死亡災害の約半数が発症者を安易に放置したことが原因とされ、作業員全員が熱中症を深く理解していることが重要ですが、実際の熱中症教育を実施している事業場は 23.91% にすぎません。



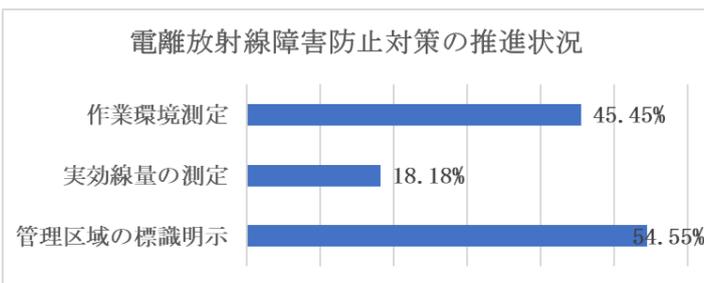
### 32. 粉じん障害防止対策の推進状況

粉じん障害防止対策を実施しているのは全体の17.86% (26.0%) でした。

このうち取組が最も多いのが、防塵マスク 94.29% (33.3%) であり、次いで多いのがじん肺健診 74.29% (29.4%) でした。以下、多い順に、全体換気装置 68.57% (23.5%)、局所排気装置 60.00% (15.7%) となっています。



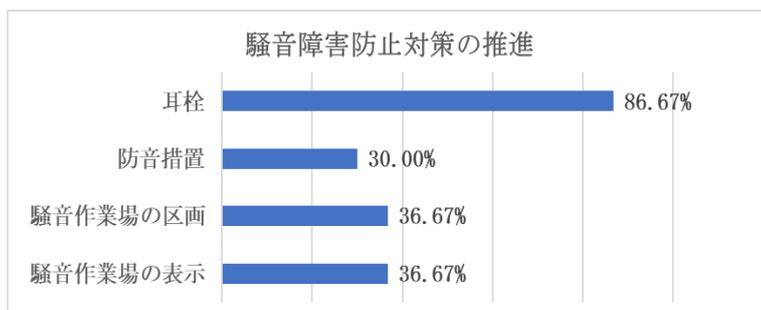
### 33. 電離放射線障害防止対策の推進状況



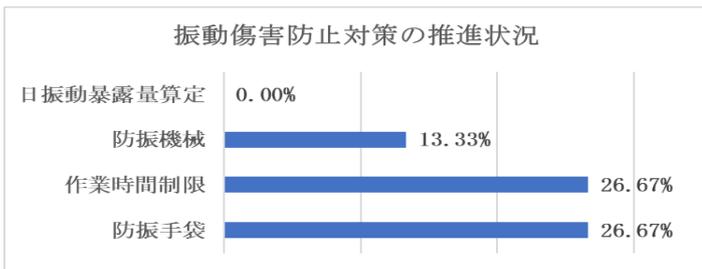
電離放射線障害防止対策を実施しているのは全体の5.61% でした。このうち取組の多い順に管理区域の標識明示 54.55%、作業環境測定 45.45%、実効線量の測定 8.18% となっています。

### 34. 騒音障害防止対策の推進状況

騒音障害防止対策を実施しているのは全体の15.31% (14.0%) でした。このうち取組の多い順にみると耳栓 86.67% (25.5%) 騒音作業場の表示 36.67% (11.8) 騒音作業場の区画 36.67% (9.8%) 防音措置 30.00% (3.9%) となっています。



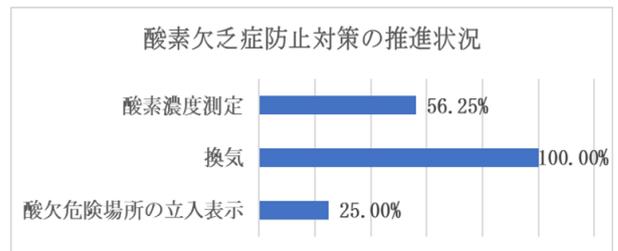
### 35. 振動障害防止対策の推進状況



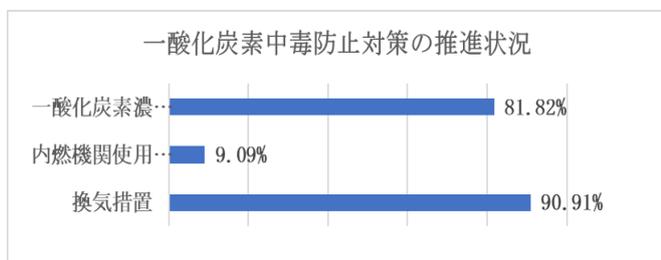
振動障害防止対策を実施しているのは全体の7.65% (4.9%) でした。このうち取組の多い順にみると防振手袋 26.67% (3.9%)、作業時間制限 26.67% (3.9%) 防振機械 13.33%、日振動暴露量算定 0.00%となっています。

### 36. 酸素欠乏症防止対策の推進状況

酸素欠乏症防止対策を実施しているのは全体の8.16%でした。このうち取組の多い順にみると、換気 100.00%、酸素濃度測定 56.25%、酸素欠危険場所の立入表示 25.00%となっています。



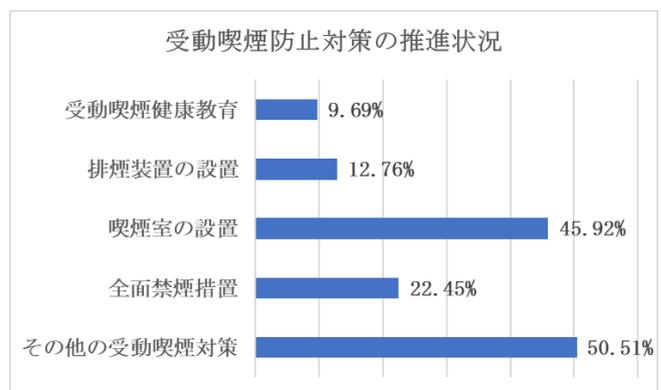
### 37. 一酸化炭素中毒防止対策の推進状況



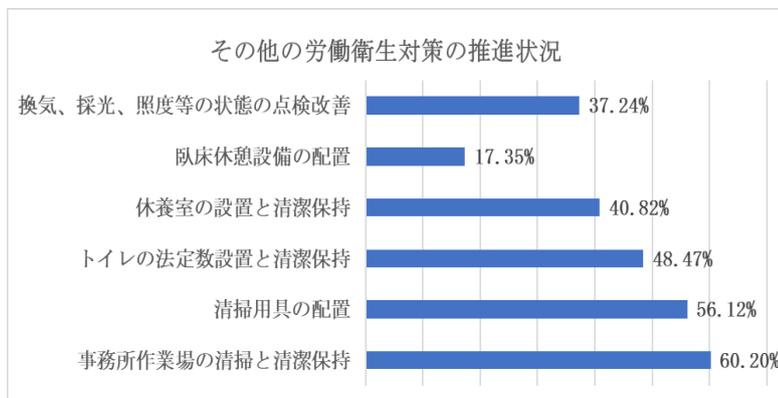
一酸化炭素中毒防止対策を実施しているのは全体の5.10% (11.8%) でした。このうち取組の多い順にみると、換気措置 90.91% (13.7%)、一酸化炭素濃度測定 81.82% (2.0%)、内燃機関使用禁止 9.09%となっています。

### 38. 受動喫煙防止対策の推進状況

受動喫煙防止対策の推進状況をみると、最も多かったのが、その他の受動喫煙対策 50.51%です。次いで多いのが喫煙室の設置 45.92% (6.8%) であり、以下、多い順に全面禁煙措置 22.45% (23.5%) 排煙装置の設置 12.76% (19.6%) 受動喫煙健康教育 9.69% (11.8%) となっています。



### 39. その他の労働衛生対策の推進状況



その他の労働衛生対策の推進状況をみると、最も多かったのが、事務所作業場の清掃と清潔保持 60.20% (64.7%) です。次いで多いのが清掃用具の配置 56.12% (76.5%) であり、以下、多い順に、トイレの法定数設置と清潔保持 48.47% (64.7%)、休養室の設置と清潔保持 40.82% (58.8%)、換気、採光、照度等の状態の点検改善

37.24% (51.0%) 臥床休憩設備の配置 17.35% (23.5%) となっています。

# F A X 076-224-2554 金沢労働基準協会あて 全業種共通 全国安全週間アンケート F A X 回答票

会社の名称		電話番号
会社の所在地	担当者氏名	
<b>重点事項</b>	<b>あなたの会社で安全週間又は年間を通して実施している事項を□にチェック✓を入れて下さい。</b>	
経営トップによる安全所信表明	<input type="checkbox"/> 安全大会等での表明 <input type="checkbox"/> 社内報掲載 <input type="checkbox"/> ホームページ掲載 <input type="checkbox"/> トップの職場巡視 <input type="checkbox"/> 安全パトロール職場総点検 <input type="checkbox"/> 従業員への文書配布 <input type="checkbox"/> その他（別紙のとおり）	
職場での安全意識の高揚	<input type="checkbox"/> 安全旗掲揚 <input type="checkbox"/> 標語掲示 <input type="checkbox"/> 講演会開催 <input type="checkbox"/> 安全関係資料配布 <input type="checkbox"/> 非常災害訓練 <input type="checkbox"/> 家庭へ文書送付 <input type="checkbox"/> 家族職場見学 <input type="checkbox"/> 「安全の日」設定 <input type="checkbox"/> その他（別紙のとおり）	
安全衛生管理体制の確立	<input type="checkbox"/> 年間安全衛生計画策定 <input type="checkbox"/> 安全衛生規程整備 <input type="checkbox"/> 安全作業マニュアル整備 <input type="checkbox"/> 有資格者リスト <input type="checkbox"/> 安全管理者選任 <input type="checkbox"/> 安全衛生推進者選任 <input type="checkbox"/> 安全衛生委員会の設置運営 <input type="checkbox"/> 作業主任者の選任と氏名表示 <input type="checkbox"/> 安全担当者の巡視報告 <input type="checkbox"/> 有資格者一覧表の掲示 <input type="checkbox"/> 労働安全衛生マネジメントシステム導入 <input type="checkbox"/> その他（別紙のとおり）	
安全衛生教育の実施	<input type="checkbox"/> 安全衛生教育長期計画 <input type="checkbox"/> 階層別安衛教育計画 <input type="checkbox"/> 雇入れ時教育 <input type="checkbox"/> 未熟練労働者教育 <input type="checkbox"/> 職長教育 <input type="checkbox"/> 災害事例活用教育 <input type="checkbox"/> 作業マニュアル活用教育 <input type="checkbox"/> 視聴覚教材の活用 <input type="checkbox"/> 外部の安全講習会の活用 <input type="checkbox"/> その他（別紙のとおり）	
自主的な安全衛生活動	<input type="checkbox"/> 職場巡視 <input type="checkbox"/> 4 S 活動（整理、整頓、清掃、清潔） <input type="checkbox"/> KY（危険予知）訓練 <input type="checkbox"/> 安全OJT <input type="checkbox"/> ヒヤリ・ハット活動 <input type="checkbox"/> 指差称呼活動 <input type="checkbox"/> TBMツルボックスミーティング <input type="checkbox"/> オアシス運動 <input type="checkbox"/> 4つのないか運動 <input type="checkbox"/> その他（別紙のとおり）	
リスクアセスメントRAの実施	<input type="checkbox"/> 作業ごとのRA <input type="checkbox"/> 機械設備ごとのRA <input type="checkbox"/> 労働災害の分析及び再発防止RA <input type="checkbox"/> SDS（安全データシート）備付 <input type="checkbox"/> 化学物質RAの実施 <input type="checkbox"/> リスクアセスメント担当者養成 <input type="checkbox"/> 「リスクアセスメントの共通化手法」の活用 <input type="checkbox"/> その他（別紙のとおり）	
機械設備の安全対策	<input type="checkbox"/> はさまれ等の危険箇所マップ <input type="checkbox"/> ストック端の危険箇所防護 <input type="checkbox"/> 機械間通路の危険箇所防護 <input type="checkbox"/> 機械の危険部分覆いチェックリスト <input type="checkbox"/> 機械別安全チェックリスト <input type="checkbox"/> 作業開始前点検票 <input type="checkbox"/> 機械機能安全の活用 <input type="checkbox"/> 高経年施設設備更新計画 <input type="checkbox"/> 優先順位を付けた点検補修計画 <input type="checkbox"/> 産業ロボットの囲い安全マット <input type="checkbox"/> 安全治具の活用 <input type="checkbox"/> その他（別紙のとおり）	
食品その他加工機械災害防止対策	<input type="checkbox"/> 刃物の安全使用 <input type="checkbox"/> 切断機・切削機・混合機・粉碎機・ロール機・成型機の覆い囲い <input type="checkbox"/> 材料供給取出用具の使用 <input type="checkbox"/> 原材料投入口の覆い囲い <input checked="" type="checkbox"/> 製品取り出し口の覆い囲い <input type="checkbox"/> 製品取出用具の使用 <input type="checkbox"/> 囲い覆い用具など安全装置の点検 <input type="checkbox"/> その他（別紙のとおり）	
墜落転落災害防止対策	<input type="checkbox"/> 開口部等の墜落転落防止措置 <input type="checkbox"/> 墜落危険箇所マップ <input type="checkbox"/> 墜落危険箇所点検票 <input type="checkbox"/> 梯子の安全点検 <input type="checkbox"/> 脚立の安全点検 <input type="checkbox"/> フルハーネス型墜落制止用器具の導入 <input type="checkbox"/> フルハーネス作業者の特別教育実施 <input type="checkbox"/> その他（別紙のとおり）	
転倒災害防止対策	<input type="checkbox"/> 作業通路の段差や凹凸の解消 <input type="checkbox"/> 通路の照度の確保 <input type="checkbox"/> 転倒危険箇所の表示 <input type="checkbox"/> 水濡れ油濡れ箇所の解消 <input type="checkbox"/> 通路の幅員の確保 <input type="checkbox"/> 作業通路の明示と通行障害物の撤去 <input type="checkbox"/> スロープ・階段の手すり滑り止め設置 <input type="checkbox"/> 転倒危険の「見える化」 <input type="checkbox"/> 視聴覚教材の活用 <input type="checkbox"/> 転倒防止のための適切な履物の選定 <input type="checkbox"/> その他（別紙のとおり）	
搬送作業の災害防止対策	<input type="checkbox"/> フォークリフトの運転資格者配置 <input type="checkbox"/> 特定自主検査証票貼付 <input type="checkbox"/> フォークリフトの運航計画作成 <input type="checkbox"/> コンベアの非常停止装置点検 <input type="checkbox"/> ロールボックス作業の安全確保 <input type="checkbox"/> 台車の点検 <input type="checkbox"/> エレベーター点検 <input type="checkbox"/> クレーンの点検検査 <input type="checkbox"/> 玉掛具の点検 <input type="checkbox"/> 資格者の配置 <input type="checkbox"/> トラック荷台作業での安全帽着用 <input type="checkbox"/> その他（別紙のとおり）	
交通労働災害防止対策	<input type="checkbox"/> 適正な労働時間管理 <input type="checkbox"/> 車両の走行計画作成 <input type="checkbox"/> 飲酒の影響や睡眠時間の教育 <input type="checkbox"/> 交通労働災害事例教育 <input type="checkbox"/> 交通安全情報マップ作成 <input type="checkbox"/> 体調確認する乗務開始前点呼 <input type="checkbox"/> 飲酒チェックの実施 <input type="checkbox"/> その他（別紙のとおり）	
高年齢労働者労働災害防止対策	<input type="checkbox"/> 身体機能低下によるリスクアセスメント <input type="checkbox"/> 補助機器等身体機能を補う設備・装置の導入 <input type="checkbox"/> 高年齢労働者の健康体力状況チェックリスト <input type="checkbox"/> ゆとりのある作業スピード等の作業管理 <input type="checkbox"/> 見やすい表示 <input type="checkbox"/> 作業のしやすい工夫 <input type="checkbox"/> その他（別紙のとおり）	
外国人労働者労働災害防止対策	<input type="checkbox"/> 母国語教材を活用した安全衛生教育 <input type="checkbox"/> 視聴覚教材を活用した安全衛生教育 <input type="checkbox"/> 事業場付属寄宿舎の安全基準確保 <input type="checkbox"/> 避難経路確保と表示 <input type="checkbox"/> その他（別紙のとおり）	
派遣労働者対策	<input type="checkbox"/> 派遣元派遣先の連絡協議会設置 <input type="checkbox"/> 関係業者との全衛生連絡協議会への派遣元参加 <input type="checkbox"/> 派遣労働者に対する安全衛生教育 <input type="checkbox"/> その他（別紙のとおり）	
無災害記録状況 (休業1日以上) 企業・事業場規模	3年以内の災害の有無    有・無    【最終労働災害発生日】    年    月    日 業種・事業内容 資本金    万円    全社従業員    名    労働者    名(パート、アルバイト含む)	

# F A X 076-224-2554 金沢労働基準協会あて 全国労働衛生週間アンケート F A X 回答票

全業種が対象です。規模は問いません。

会社の名称			業種		
			労働者数		
会社の所在地			電話番号		
			担当者名		
<b>重点事項</b>	あなたの会社で実施している事項を☑して下さい。「その他」は別紙に記載してください。 (新型コロナウイルス感染症対策で今年は未実施の場合でも通常行っているときは実施事項としてください。)				
経営トップによる健康所信表明	<input type="checkbox"/> 職場大会等での表明 <input type="checkbox"/> 社内報掲載 <input type="checkbox"/> ホームページ掲載 <input type="checkbox"/> その他(別紙のとおり) <input type="checkbox"/> ワークライフバランス推進表明 <input type="checkbox"/> 過重労働対策推進表明 <input type="checkbox"/> メンタルヘルスケア推進表明				
職場での衛生意識の高揚	<input type="checkbox"/> トップの職場巡視 <input type="checkbox"/> 労働衛生旗掲揚 <input type="checkbox"/> ポスター標語の掲示 <input type="checkbox"/> 講演会開催 <input type="checkbox"/> 資料配布 <input type="checkbox"/> 優良職場・功績者表彰 <input type="checkbox"/> 家族の職場見学会 <input type="checkbox"/> 非常災害救護訓練 <input type="checkbox"/> その他(別紙のとおり)				
安全衛生管理体制の確立	<input type="checkbox"/> 年間安全衛生計画 <input type="checkbox"/> 衛生規程 <input type="checkbox"/> 作業マニュアル <input type="checkbox"/> 衛生管理者選任 <input type="checkbox"/> 衛生推進者選任 <input type="checkbox"/> 衛生委員会の運営 <input type="checkbox"/> 作業主任者選任 <input type="checkbox"/> 有資格者リスト <input type="checkbox"/> 現場管理者の職務権限の確立 <input type="checkbox"/> 衛生担当者の巡視 <input type="checkbox"/> リスクアセスメント担当者の養成 <input type="checkbox"/> 労働安全衛生マネジメントシステム導入 <input type="checkbox"/> PDCAサイクル <input type="checkbox"/> その他(別紙のとおり)				
作業環境管理の推進	<input type="checkbox"/> 有害物等の作業環境測定実施 <input type="checkbox"/> 作業環境測定結果の周知 <input type="checkbox"/> 作業環境測定結果による改善 <input type="checkbox"/> 局所排気装置の設置 <input type="checkbox"/> 局所排気装置の検査点検 <input type="checkbox"/> 換気、採光、照度、便所等の状態の点検				
作業管理の推進	<input type="checkbox"/> 自動化、省力化等による作業負担の軽減 <input type="checkbox"/> 各種作業指針の周知 <input type="checkbox"/> その他(別紙のとおり) <input type="checkbox"/> 有効な保護具等の選択 <input type="checkbox"/> 保護具の必要数備付 <input type="checkbox"/> 保護具使用徹底 <input checked="" type="checkbox"/> 保護具保守管理点検				
健康管理の推進 健康づくり対策	<input type="checkbox"/> 「職場の健康診断実施強化月間」行事 <input type="checkbox"/> 定期健康診断の実施 <input type="checkbox"/> 有所見者の事後措置 <input type="checkbox"/> 有所見者の精密再検査費用の補助制度 <input type="checkbox"/> 人間ドック受診費用の補助制度 <input type="checkbox"/> ワクチン費用の補助制度 <input type="checkbox"/> 高齢者の特定健診保健指導の連携 <input type="checkbox"/> 産業保健総合支援センターの活用 <input type="checkbox"/> その他(別紙のとおり) <input type="checkbox"/> 健康情報発信 <input type="checkbox"/> 健康講座開催 <input type="checkbox"/> 健康啓蒙イベント開催 <input type="checkbox"/> ヘルシーメニュー提供 <input type="checkbox"/> 運動機会提供				
労働衛生教育の推進	<input type="checkbox"/> 雇入れ時教育 <input type="checkbox"/> 危険有害業務従事者に対する特別教育 <input type="checkbox"/> 中期安全衛生教育計画の作成 <input type="checkbox"/> 衛生管理者、作業主任者等労働衛生管理体制の中核となる者に対する能力向上教育の実施				
過重労働による健康障害防止のための総合対策	<input type="checkbox"/> ワークライフバランスの推進 <input type="checkbox"/> 時間外・休日労働削減 <input type="checkbox"/> 年次有給休暇取得促進 <input type="checkbox"/> 労働時間状況把握 <input type="checkbox"/> 長時間労働者に対する医師の面接指導 <input type="checkbox"/> 健診有所見者の事後措置 <input type="checkbox"/> 産業保健総合支援センターの活用 <input type="checkbox"/> その他(別紙のとおり)				
メンタルヘルス対策	<input type="checkbox"/> 衛生委員会等における調査審議 <input type="checkbox"/> 「心の健康づくり計画」策定 <input type="checkbox"/> セルフケア教育 <input type="checkbox"/> ラインケア教育 <input type="checkbox"/> 産業保健スタッフケア教育 <input type="checkbox"/> 事業場外資源活用 <input type="checkbox"/> メンタル相談窓口 <input type="checkbox"/> 傾聴教育 <input type="checkbox"/> メンタル不調者の職場復帰支援制度 <input type="checkbox"/> ストレスチェック実施 <input type="checkbox"/> チェック結果の集団分析 <input type="checkbox"/> 集団分析による職場環境改善 <input type="checkbox"/> 自殺予防週間の取組その他				
化学物質による健康障害防止対策 該当の 有・無	<input type="checkbox"/> 特定化学物質障害予防規則の措置 <input type="checkbox"/> 有機溶剤中毒予防規則の措置 <input type="checkbox"/> 適切な保護具の使用 <input type="checkbox"/> 皮膚や眼の保護具の取扱注意表示と教育 <input type="checkbox"/> 化学物質汚染時の洗浄注意表示と教育 <input type="checkbox"/> 化学物質のラベル表示貼付 <input type="checkbox"/> 安全データシート SDS 備付 <input type="checkbox"/> 危険有害性の表示 <input type="checkbox"/> ラベル表示・SDS の教育 <input type="checkbox"/> 代替物の検討採用    特殊健康診断による健康管理 <input type="checkbox"/> SDS に基づくリスクアセスメント <input type="checkbox"/> リスク低減策の実施 <input type="checkbox"/> その他(別紙のとおり)				
特殊な労働衛生対策  該当する対策の に☑チェック	<input type="checkbox"/> 治療と仕事の両立支援 <input type="checkbox"/> 基本方針等の表明と周知 <input type="checkbox"/> 意識啓発研修 <input type="checkbox"/> 支援相談窓口 <input type="checkbox"/> 腰痛予防対策 <input type="checkbox"/> 作業標準改善 <input type="checkbox"/> 腰痛予防教育 <input type="checkbox"/> 腰痛予防体操 <input type="checkbox"/> 荷物運搬の省力化 <input type="checkbox"/> 熱中症予防対策 <input type="checkbox"/> WBGT 値把握 <input type="checkbox"/> 水分補給 <input type="checkbox"/> 塩分補給 <input type="checkbox"/> 単独作業回避 <input type="checkbox"/> 健康確認 <input type="checkbox"/> 粉じん障害防止対策 <input type="checkbox"/> 局所排気装置 <input type="checkbox"/> 全体換気装置 <input type="checkbox"/> 防塵マスク <input type="checkbox"/> じん肺健診 <input type="checkbox"/> 電離放射線障害防止対策 <input type="checkbox"/> 管理区域の標識明示 <input type="checkbox"/> 実効線量の測定 <input type="checkbox"/> 作業環境測定 <input type="checkbox"/> 騒音障害防止対策 <input type="checkbox"/> 騒音作業場の表示 <input type="checkbox"/> 騒音作業場の区画 <input type="checkbox"/> 防音措置 <input type="checkbox"/> 耳栓 <input type="checkbox"/> 振動障害防止対策 <input type="checkbox"/> 防振機械 <input type="checkbox"/> 防振手袋 <input type="checkbox"/> 日振動暴露量算定 <input type="checkbox"/> 作業時間制限 <input type="checkbox"/> 酸素欠乏症防止対策 <input type="checkbox"/> 酸素欠危険場所の立入禁止表示 <input type="checkbox"/> 換気 <input type="checkbox"/> 酸素濃度測定 <input type="checkbox"/> 一酸化炭素中毒防止対策 <input type="checkbox"/> 換気措置 <input type="checkbox"/> 内燃機関使用禁止 <input type="checkbox"/> 一酸化炭素濃度測定				
事務所や作業場における清潔保持	<input type="checkbox"/> 受動喫煙対策 <input type="checkbox"/> 全面禁煙措置 <input type="checkbox"/> 喫煙室の設置 <input type="checkbox"/> 排煙装置の設置 <input type="checkbox"/> 受動喫煙健康教育 <input type="checkbox"/> 4 S 活動(整理、整頓、清掃、清潔) <input type="checkbox"/> 事務所や作業場の清掃と清潔保持 <input type="checkbox"/> 清掃用具の配置 <input type="checkbox"/> トイレの法定数設置と清潔保持 <input type="checkbox"/> 休養室の設置と清潔保持 <input type="checkbox"/> 臥床休憩設備の配置 <input type="checkbox"/> 換気、採光、照度等の状態の点検改善 <input type="checkbox"/> その他(別紙のとおり)				
労働災害発生状況 3年以内の 休業1日以上災害	<input type="checkbox"/> 有・ <input type="checkbox"/> 無	最終災害発生日 年 月 日	企業規模 資本金 万円 全社従業員 名	衛生管理者・(安全)衛生推進者 氏名	